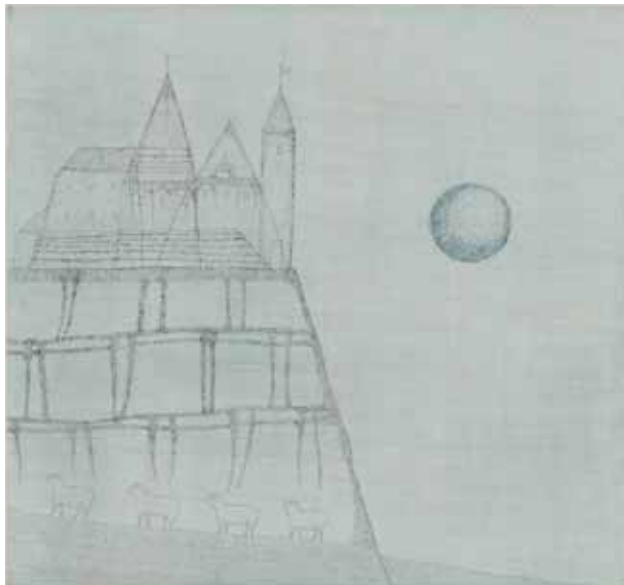


KEIKO MINAMI EXHIBITION

南桂子展 船の旅

詩と童話と版画の世界



1 「城と月」1957年 銅版画

さあ、
私達は又
長い長い船の旅につきます

「船の旅」第二章より抜粋

2012.5.12 sat - 7.31 tue

ごあいさつ 《南桂子の詩と童話の初公開のお知らせ》

ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクションでは、今年も銅版画家・南桂子の展覧会をいたします。どこか懐かしい、詩情あふれる銅版画には、この数年、特に若い年代を中心に静かな人気が広がってきています。昨年は生誕100年を記念し、全国で巡回展が開催されました。

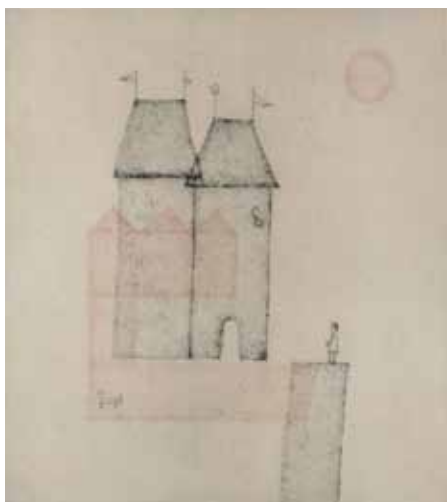
南桂子が、戦後の一時期、壺井栄に師事して童話を書き、新聞に発表していたことは知られています。ところが昨年、本人の手書きの原稿類が大量に見つかり、版画制作と並行して豊かな文学活動をしていたことが分かりました。当館で整理したところ、完成された作品は詩3篇、童話は52篇にのぼりました。ほとぼる空想力や優しいものを包むまなざしがどの作品にも結晶しています。今回の展覧会では、作家の豊かな内面の世界を紹介するために、一部を初公開します。

展覧会タイトルになった「船の旅」は1953年の冬、銅版画を学ぶためにフランスに渡る、その船の中で書きつけた短い詩です。七章からなる詩（第六章のみ1960年に個展で発表）は、台湾、香港、シンガポールと寄港しながら見知らぬ新天地をめざす作家の真っ白な希望をたたえ、後半は異国情緒あふれる物語へと変化してゆきます。旅の途中に描いたスケッチと併せて展示いたします。

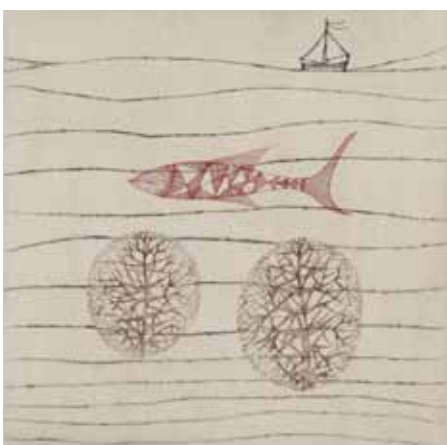
童話は、数ある中から、夢や色彩にあふれる作品を選んで公開します。森の小さな湖で起こる月夜の不思議な物語「金と銀の魚」、見知らぬ世界を知りたかった「一匹のめだか」、希望みなぎる「毛虫の旅行」「二つの種」、赤い椅子と美しい鳥が追想する「ホテルの夜」の5編です。南桂子の詩と童話と版画、なつかしく新しい、それぞれの世界をご鑑賞ください。

※童話「ホテルの夜」のみ当館でつけた仮のタイトルです。

※詩と童話につきまして、現時点で過去に発表された形跡がないものについて「初公開」としておりますが、今後の調査により変更になる可能性があります。



2 「街」1957年 銅版画



3 「海」1961年 銅版画

4 旅の途中に描いたスケッチ
香港 1953年12月8日

展覧会概要

日時：2012年5月12日（土）～7月31日（火）

会場：ミュージゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

入館料：大人 600円 大学・高校生 400円 中・小学生 200円

休館日：月曜日（7/16を除く）、7/17（火）

開館時間：11:00～17:00（最終入館 16:30。土日祝は 10:00 開館。）

※6/2（土）、6/23（土）はワークショップ開催の為、1階会場が鑑賞しにくくなります。

※休館日、開館時間、出品作品等は都合により変更する場合がございます。

イベント

ワークショップ “つくる楽しみ” 「染め紙でつくる、特別なノート」

オリジナルの美しい染め紙「クライスターペピア」を使用した文房具の製作を手がける双子姉妹のユニット『ツヴィリンゲ』のお二人に、南桂子作品をイメージした紙を染めていただきました。その染め紙を使い、糸で綴じるシンプルなノートを作るワークショップを全4回開催します。自分だけの特別なノートを作りにぜひご参加ください。

日時：6/2（土）①午前 10:00～12:30 ②午後 14:30～17:00

6/23（土）③午前 10:00～12:30 ④午後 14:30～17:00

講師：ツヴィリンゲ（寺園直子／森住香） 定員（各回）：10名

参加費：3000円（材料費2400円＋入館料600円）

申込：5/2（水）11:00よりお電話にて受付（先着順）。

ツヴィリンゲの詳細な活動内容はHP【<http://www.zwillinge.jp/>】をご覧ください。

美術館概要

ミュージゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-35-7

TEL：03-3665-0251 FAX：03-3665-0257 Email：musee@yamasa.com

HP：http://www.yamasa.com/musee/

アクセス：東京メトロ半蔵門線「水天宮前」3番出口そば

プレスリリースご担当者様へ

展覧会取材いただきますよう、どうぞよろしくお願い致します。

広報画像の貸出はご希望の番号1～4をお申し付けください。

この資料に関するお問合せは、広報担当：新田までご連絡お願い致します。